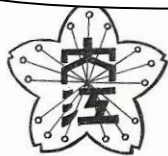


月曜日の学校全体のお休みは20人でした。いつもの倍。保健室もおなかがちょっと痛い人など何人が来ていました。学校が再開して1か月が過ぎ疲れもたまってきたかな。このような気候で体調を崩しやすくなっているのでしょう。実は職員も…。こういう時は「体を動かす・食事・ぐっすり寝る・よく笑う・リラックス」で免疫力を高めましょう。



# 大江の風



7月7日  
No.61

## 今年の七夕は大雨（泣）

1年生の朝顔も強風で倒れるので、昨日から校舎内に避難しています。

熊本県だけでなく九州全域が記録的な大雨になっており、土砂災害や河川の氾濫、低地の浸水などに引き続き、最大級の警戒が必要です。TVで「避難指示が発令されています。ただちに命を守る行動をとりましょう。」と何度も流れます。悲惨な映像を見てこの言葉をずっと聞いていると、大人でも心が苦しくなります。重くなります。子どもたちの心への影響を心配しているところです。



お昼の放送で下記のように、再度下校の注意をしました。子どもたちは水たまりが大好きです。今朝交通指導をしていると、車道にできた水たまりも気になるらしく、傘でつついたり、わざと車道に出て入ろうとしたりする子どもを見かけ、注意をしました。このような大雨の時に、「自分の命は自分で守る」とはどういうことなのか、子どもたちに具体的に教える必要があります。どうぞお家でも具体的な例を出して、どんな危険があるのかを教えていただきたいと思います。それが子ども自身の、『危険予測回避能力』を高めることになります。

今、熊本県は、大雨で大変な被害が出ています。特に、熊本県の南の方、八代や人吉や水俣や葦北地方、そして北の方、荒尾や玉名など・・・もしかしたら、皆さんの、おじいちゃんおばあちゃんの家とか、知り合いの方や親せきの方が大変な思いをされているかもしれません。心から、これ以上の被害がないことを祈っています。

さて、みなさんの住んでいる大江校区は、水害の危険はありません。熊本市が作っているハザードマップという洪水の危険地域が記してある地図があるのだけれど、ちょうど大江小校区のほとんどは真っ白、つまり洪水はないということになっています。でも、そうだからといって、安心していいわけではありません。自分の命は自分で守るために、今日、帰る時の注意をいいます。考えて行動してください。

道路には、マンホール、側溝があります。こういったところから水が噴き出していたり、大きな水たまりや池のようになっていたりするところがあります。みんなは、水たまりが大好きだよ。わざと入っていいこうとします。でも茶色で底の見えない水たまりは、実はとても危険なんです。道に穴があいているかもしれません。ふたのあいたマンホールやふたのはずれたみぞがあるかもしれません。過去には、そういう穴に落ちて命を失っている人が多くいます。こういう大雨の時は、水たまりや水が噴き出しているところには近づきません。今日は、水たまりで遊ばず、さっさと帰ります。もちろん、白川はどうなっているかなど、興味本位で川に近づいてもいけません。白川のことを知りたかったら、ネットでライブ映像を見ましょう。絶対に見に行っちゃはいけません。

みんな、「自分の命は自分で守る」は大江小の教育目標、「自分でどうにかする力」の一つです。帰り道、しっかり注意して帰りましょう。

## 【祝】学習指導員の先生が増えました

熊本市は、7月6日から新型コロナウイルス感染症の影響に伴う臨時休業の長期化及び段階的再開を行う全小中学校において、児童生徒の学びの保障を行うため、学習指導員を募集しています。



個別に支援していただきます。子どもは安心して学んでいます。

本校はいち早く、昨日から2人の学習指導員の先生に午前中勤務していただいています。主にひまわり学級と低学年に学習の支援をしてもらいます。お二人はえのきクラブの先生でもあり、お昼から、またたくさん子どもたちがお世話になります。学校はマンパワーが足りません。6月から教職員の業務が、膨大に膨れ上がっています。私たちが一番大事にしたいのは、子どもたちの学びの保障と心の安定です。二人も学習指導員の先生が増えたことは、大江小の子どもたちにとって、とても幸せです。よかったな～♥



おまけ 2年生の本日の収穫